

心身障害児登録カード調査

衛生科学研究所母子衛生科 小 西 玲 子
小 野 山 直 子

昭和41年度より県政の重点施策として、不幸な子供をうまない運動が行なわれることとなった。

当母子衛生科においても、県当局初年度事業の衛生教育ならびに姓産婦、乳児、3才児検診等の参加は勿論であるが、一方県内心身障害児の実態とその要因を知り得たい目的で、婦人児童課で昭和39年度より取扱っている特別児童扶養手当受給者257名(却下分含む)、さらに県立中央児童相談所登録者名のカード調査を行なった。

しかしながら、登録カードの記載そのものが医学的要因を含めてのものでなかったため、目的からは甚だ遠い資料となったが、現在登録されている児童の何らかの姿を伺い得るものと思う。

資料を提供下さいました婦人児童課長佐藤東一氏、中央児童相談所長佐々木敬作氏ならびに係員の皆様に衷心より謝意を表する。

精 薄 要 員	43	30	73
秩 父 学 園 入 所 者	3	0	3
島 田 療 育 園 入 所 者	2	1	3
秋 津 療 育 園 入 所 者	2	3	5
在 宅 児 童	12	20	32
計	442	373	815

※却下分含む

表 2 診断状況

その1 特別児童扶養手当受給者(認定診断書より)
257名

	男	女	計	%
精薄のみ	5	6	11	4.2
精薄+てんかん	1	5	6	2.3
精薄+てんかん+四肢運動障害	1	1	2	0.7
精薄+てんかん+四肢運動障害+言語障害	14	8	22	8.6
精薄+てんかん+四肢運動障害+視力障害	1		1	0.4
精薄+てんかん+四肢運動障害+言語+視力	1	1	2	0.7
精薄+てんかん+四肢運動障害+言語+聴力		1	1	0.4
精薄+てんかん+言語障害	19	6	25	9.7
精薄+四肢運動障害	6	8	14	5.4
精薄+四肢運動障害+言語障害	56	37	93	36.2
精薄+四肢運動障害+視力障害		1	1	0.4
精薄+四肢運動障害+言語障害+聴力障害		3	3	1.2
精薄+四肢運動障害+言語障害+視力障害	2	2	4	1.5
精薄+言語障害	36	20	56	21.8
精薄+視力障害		1	1	0.4

表 1 調査人員

	男	女	計	
※ 特別児童扶養手当受給者	150	107	257	
児童相談所登録(精薄児・肢体不自由児)	高 清 水 学 園 入 所 者	35	19	54
	高 清 水 学 園 退 所 者	43	25	68
	東 山 学 園 入 所 者	20	10	30
	東 山 学 園 退 所 者	3	4	7
	若 竹 学 園 入 所 者	18	13	31
	若 竹 学 園 退 所 者	3	4	7
	南 浜 学 園 入 所 者	20	9	29
	南 浜 学 園 退 所 者	9	17	26
	阿 桜 学 園 入 所 者	2	5	7
	太 平 療 育 園 入 所 者	38	39	77
	太 平 療 育 園 退 所 者	189	176	365

精薄+聴力障害		1	1	0.4
精薄+言語障害+視力障害	2	3	5	1.9
精薄+言語障害+聴力障害	1		1	0.4
モンゴリズムス	5	3	8	3.1
計	150	107	257	
水頭症	6	4	10	
脳水腫	3	3	6	
奇型	0	1	1	
侏儒	1		1	

その2 児童相談所登録者(精神薄弱児・

肢体不自由児) 815名

	男	女	計
精神薄弱児	235	170	405
精神薄弱のみ	150	111	261
言語不明瞭を伴うもの	40	23	66
精神薄弱に身体障害を伴う	85	59	144
肢体障害を伴う	57	47	104
視覚障害を伴う	27	13	40
音声言語障害を伴う	8	8	16
内臓奇形を伴う	4	2	6
肢体不自由のみ	207	200	407
計	442	(不明 3) 373	(不明 3) 815

その3 肢体不自由児(児童相談所登録者) 408名

原因及び病名	男	女	計
外傷	17	7	24
(火傷)	(8)	(1)	(9)
(怪我)	(9)	(6)	(15)
ポリオ	100	77	177
骨髄炎	16		16
脳性小児マヒ	28	22	50
日本脳炎	1		1
黄疽髄膜炎	1		1

() 内訳は外傷内

脳膜炎	2	1	3
進行性筋委縮症	7		7
軟骨異常栄養症	1	1	2
進行性化骨筋炎	1	1	2
ペルテス氏病	7	1	8
下肢骨折成形不全	1		1
奇形侏儒病	1		1
指奇形	1		1
Fried-reich失調症	1		1
痙直性マヒ	1		1
先天性内反足	3	3	6
くる病	2	7	9
多発性関節リウマチ	1		1
多発性外骨腫	1		1
頸椎カリエス	1	1	2
結核性股関節炎	3	2	5
脊髄破製によるマヒ		1	1
先天性発育不全		1	1
関節炎		1	1
脊髄炎		1	1
先天性側彎症		2	2
特発性側彎症		1	1

表3 要因と思われる事項

その1 特別児童扶養手当受給者 257名

原因を明らかに記載しているもの

男		女	
脳炎(膜)	5名	脳膜炎	3名
高熱	2名	日本脳炎	1名
出産時脳出血	1名	先天梅毒	1名
妊娠中の転倒	1名		

その2 精神薄弱児（児童相談所登録）815名（ダブルチェック）

		男				女				合 計
		精薄のみ	精薄+言語不明瞭	精薄+身障	計	精薄のみ	精薄+言語不明瞭	精薄+身障	計	
先天的なもの	遺伝的負因あり	23	18	18	59	11	6	9	26	85
	両親又は片親に異常	11	6	13	30	4	1	5	10	40
	同胞に異常あり	13	6	7	26	6	1	4	11	37
	親類に異常あり	2	4	1	7	2	2	2	6	13
	近親婚あり	2	3	2	7	3	4	2	9	16
	梅毒	4	0	4	8	3	1	0	4	12
妊娠中	妊娠中異常あり	6	8	10	24	6	2	3	11	35
	(妊娠中毒症症状)	(3)		(4)	(7)	(2)		(1)	(3)	(10)
	既往歴あり	7	5	2	14	2	2	6	10	24
出産時	難産	5	7	3	15	7	5	7	19	34
	早産	7	11	12	30	4	5	6	15	45
	分娩時母親異常あり	3	10	1	14	6		2	8	22
	出産時児異常あり	5	4	8	17	5	4	2	11	28
	仮死	4	3	8	15	5	4	6	15	30
	未熟児	7	4	4	15	4	1	2	7	22
	重症黄疸	0	1	0	1					1
後天的と思われる原因	外傷	6	5		11			1	1	12
	結核			2	2					2
	脳膜炎, 脳炎	10	1	6	17	5	2	7	14	31
	脳性小児マヒ	4	0	27	31	2	7	22	31	62
	小児マヒ	2	0	5	7	2		1	3	10
	中耳炎	1		1	2					2
	甲状腺腫	2		1	3		1		1	4
	肺炎	2	1		3			1	1	4
	はしか		3		3			2	2	5
	急性脳水腫		1		1					1
	高熱あり	6	6	8	20	6	3	1	10	30
原因不明	15	7	14	36	22	10	8	40	76	
蒙古症	5	10	7	22	5	5	4	14	36	
てんかん	9	11	13	33	11	4	4	19	52	
行動異常	父に行動異常あり	4	1	4	9	6	1	1	8	17
	母に行動異常あり	3	2		5			1	1	6

その3 肢体不自由児（児童相談所登録） 408名

		男			女			計
		ポリオ	その他	計	ポリオ	その他	計	
先天的	遺伝負因	妹身障 3	両親に精薄 2	計 2	同胞てんかん 1	兄小児マヒ 1	計 1	
			親類 " 1			同胞てんかん 1		兄小児マヒ 1
			同胞 " 1		叔母てんかん 1		2	
			父バセドウ氏病 1		兄脳小マヒ 1		1	
			父リウマチ 2		母脱白 1		1	
			母身障 1		弟ベルテス病 2		2	
			妹 " 2		親類に脱白 1		1	
					姉リウマチ 1		1	
					母親身障 1		1	
					同胞精薄 1		1	
妊娠中	異常あり	3	6	9	0	9	9	18
	既往歴あり	3	7	10	3	12	15	25
出生時	分娩異常あり	2	3	5	1	3	4	9
	難産	3	8	11	2	6	8	19
	出産時異常あり	1	10	11	1	4	5	16
	早産	3	8	11		6	6	17
	仮死	1	7	8	2	4	6	14
	未熟児	2	5	7	3	8	11	16
	双胎		1	1	1		1	2
	過熟	1	1	2				2
	脳内出血		1	1				1
	逆子					3	3	3

表4 出生時の父母年令

その1 父親の年令

特別児童扶養当受給者及び児童相談所登録の精薄児の父親 460名

父親の年令	計		男		女	
	N	%	N	%	N	%
19才以下	2	4.3	1	0.4	1	0.5
20 ~ 24	33	7.2	15	5.7	18	9.2
25 ~ 29	103	22.4	59	22.3	44	22.4
30 ~ 34	144	31.3	89	33.7	55	28.1
35 ~ 39	72	15.7	34	12.9	38	19.4
40 ~ 44	63	13.7	38	14.4	25	12.8
45 ~ 49	30	6.5	21	8.0	9	4.6
50 ~ 54	12	2.6	6	2.3	6	3.1
55 ~ 59	1	0.2	1	0.4	0	—
計	460		264		196	

その2 母親の年令(児の出生時)

特別児童養護手当受給者及び児童相談所登録精薄児の母親 470名

母親の年令	秋 田 県 (昭和30~39年 10年)						精 神 薄 弱 児 の 母 親					
	計		男		女		計		男		女	
	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
19才以下	名 3,724	1.5	名 1,898	1.5	名 1,824	1.5	名 12	2.6	名 8	3.0	名 4	2.0
20~24	83,793	34.4	43,170	34.5	40,623	34.3	105	22.3	57	21.3	48	23.8
25~29	104,349	42.9	53,474	42.8	50,875	43.0	166	35.3	93	34.7	73	36.1
30~34	38,538	15.8	19,928	15.9	18,610	15.7	98	20.9	58	21.6	40	19.8
35~39	10,618	4.4	5,308	4.2	5,310	4.5	53	11.3	30	11.2	23	11.4
40~44	2,179	0.9	1,142	0.9	1,037	0.9	30	6.4	20	7.5	10	5.0
45~49	136	0.1	71	0.1	65	0.1	6	1.3	2	0.7	4	2.0
50~54	16		6		10		0		0		0	
不詳	1		0		1		0		0		0	
計	243,355		124,998		118,357		470		268		202	

表5 出生順位

特別児童養護手当受給者及び児童相談所登録の精薄児 484名

出生順位	秋 田 県 (昭和30~39年 10年間)						精 神 薄 弱 児					
	計		男		女		計		男		女	
	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
1	名 93,548	38.4	名 48,368	38.7	名 45,180	38.2	名 162	33.5	名 87	31.3	名 75	36.4
2	75,972	31.2	38,734	31.0	37,238	31.5	130	26.9	73	26.3	57	27.7
3	39,038	16.0	19,977	16.0	19,061	16.1	87	18.0	54	19.4	33	16.0
4	18,351	7.5	9,564	7.7	8,787	7.4	44	9.1	23	8.3	21	10.2
5	8,327	3.4	4,321	3.5	4,006	3.4	22	4.5	15	5.4	7	3.4
6	4,045	1.7	2,002	1.6	2,043	1.7	20	4.1	14	5.0	6	2.9
7	2,085	0.9	1,024	0.8	1,061	0.9	11	2.3	8	2.9	3	1.5
8	1,081	0.4	544	0.4	537	0.5	6	1.2	4	1.4	2	1.0
9	523	0.2	265	0.2	258	0.2	1	0.2			1	0.5
10	247	0.1	119	0.1	128	0.1	1	0.2			1	0.5
11以上	144	0.1	78	0.1	66	0.1	0					
不詳	4	—	2	—	2	—	0					
計	243,365		124,998		118,367		484		278		206	